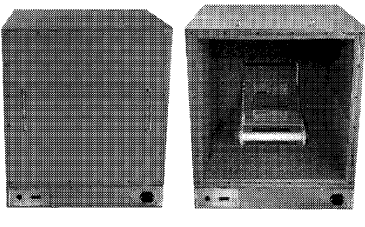
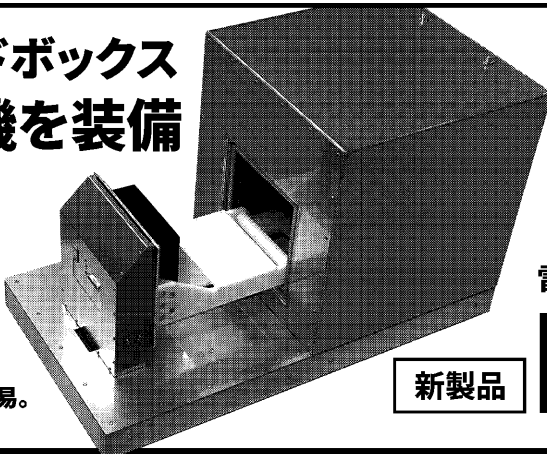


自動開閉型電波シールドボックス 電動式の自動搬送機を装備

小型無線機器の生産ラインの自動化に貢献。
 作業者の開閉負担軽減、タクトタイム短縮につながる。
 電動式のため、エアアシリンダ式と比べて位置決め精度が高く、パラメータ設定が容易。



電波暗箱(シールドボックス)
MY4620
 新製品

MICRONIX マイクロニクス株式会社 〒193-0934 東京都八王子市小比企町 2987-2 TEL: 042-637-3667 FAX: 042-637-0227
<https://micronix-jp.com/> E-mail: micronix_j@micronix-jp.com

Soma S-7150 近赤外牛血液測定装置

放牧衛生検査をスマートに!

本装置は、牛の血液を採血直後に採血管のまま測定する目的で開発された装置です。遠心分離器や自動血球測定器を使わずに、ヘマトクリット値、ヘモグロビン量を瞬時に推定し、その場で貧血や脱水症状を把握、直ちに治療や処置を開始することが可能です。

- 試験や遠心分離は必要なし
- 軽量コンパクト・充電式バッテリー搭載
- 表示画面と音声ガイドダンスに従って簡単操作。
- タブレットの取り外し可能。



Soma 株式会社 相馬光学 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井23-6
 TEL: 042(597)3256 FAX: 042(597)3208 <http://somaopt.co.jp>

世界に誇る 分析・測定・検査機器・校正サービス／サポート in 東京都西部地域

トップが語る 技術・製品・戦略

【順不同】 企画・制作：日刊工業新聞社 西東京支局

Web運動企画



特設サイト

東京都西部地域は分析機器、電気測定器、検査機器、校正サービス／サポートの企業が集まっている。自社技術や製品開発能力を磨き、顧客の高品質、信頼性、安全性を支えている。企業間の垣根を越えた取り組み、顧客の生産性の向上につながる新しいサービスの提案、グローバル展開、新規市場を見据えた製品提案などを行い、世界に誇る企業としての地位を確立。そこには企業の自負があり、これらの方針の有力企業に事業展開や今後の経営戦略などについて聞いた。

マイクロニクス

高周波技術のインテグレーターとして

マイクロニクスはマイクロ波技術に強みを持つ電子計測器メーカー。製品は公的機関に導入されるなど、顧客からの信頼は厚い。無線通信・自動車業界で、さらなる市場拡大を狙う。2021年度を振り返る。

「21年4-9月の業績はインフラ系の需要が底堅く、特にETC/ITSスポット電界強度測定システムが貢献した。民間では第5世代通信(5G)関連が好調で、電波暗箱も各種試験・生産ライン向けに少なからず増産している。」

「22年度は、」



片岡 光に 社長

「22年度は、」

「基礎局需要が伸びている。可変アンプやターは投資を控えていた顧客が動き出したように、電磁環境適合性(EMC)試験関連の需要も増えている。いままでの傾向として、EMC試験関連が好調の時、電波暗箱も各種試験・生産ライン向けに少なからず増産している。」

「22年度は、」

「基礎局需要が伸びている。可変アンプやターは投資を控えていた顧客が動き出したように、電磁環境適合性(EMC)試験関連の需要も増えている。いままでの傾向として、EMC試験関連が好調の時、電波暗箱も各種試験・生産ライン向けに少なからず増産している。」

相馬光学

光分析のベストパートナーへ

相馬光学は光分析装置メーカー。光分析と分光技術を中心に、世界のメーカー向けに、世界でのツールを制作している。光分析のベストパートナーとして、顧客のニーズにマッチしたモノづくりを続けている。

「スタートは順調だったが、後半にかけて半導体不足の影響を受けた。今までも少しづつ買足してきた分を使い生産している。新年度に向けて電子部品が入手しやすい状況は続いている。」

「スタートは順調だったが、後半にかけて半導体不足の影響を受けた。今までも少しづつ買足してきた分を使い生産している。新年度に向けて電子部品が入手しやすい状況は続いている。」



浦 明子 社長

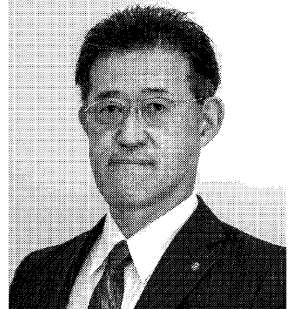
「スタートは順調だったが、後半にかけて半導体不足の影響を受けた。今までも少しづつ買足してきた分を使い生産している。新年度に向けて電子部品が入手しやすい状況は続いている。」

「スタートは順調だったが、後半にかけて半導体不足の影響を受けた。今までも少しづつ買足してきた分を使い生産している。新年度に向けて電子部品が入手しやすい状況は続いている。」

リガク

顧客ニーズにあわせたサービス事業拡大へ

リガクは1951年創業、各種分析装置を世界展開する。グローバル販売網の活性化で、輸出比率70%と全売上高30%増を実現した。米国子会社開発の蒸着ミラーは、EUV露光装置用マニピュレーターに採用された。米国子会社で開発した技術を中心に、半導体製造分野でマスク・ウエハ検査などX線応用分析の価値を高めた。日本電子との共同開発による電子回折装置で、納期面での対応しな



池田 俊幸 社長

「競争力のあるハードウェアをベースにアプリケーションサポートを強化し、顧客ニーズにあわせたアップグレードなど、サービスの事業を拡大する。さらなる微細化・高集積回路やエネルギーギン半導体実用に向けた検査技術の開発と半導体産業の発展と、創薬や治療薬品

「競争力のあるハードウェアをベースにアプリケーションサポートを強化し、顧客ニーズにあわせたアップグレードなど、サービスの事業を拡大する。さらなる微細化・高集積回路やエネルギーギン半導体実用に向けた検査技術の開発と半導体産業の発展と、創薬や治療薬品

日本電子

連携による開発成果を新しい市場へ

2019年に発表された成長指針「70年目の転換」を確実に実行中。継続して強化するコア技術を活用し、新しい機器やソリューションを半導体・産業・医用機器等より大きな市場へ提供している。

「2021年度は、」

「株式会社リガクと共同開発した電子回折専用機を製品化。創薬や化学分野の研究に貢献できる。IMS社(イーストリア)と開発したマルチ電子ビーム描面装置は特に好調で生産能力を強化した。超高速



大井 泉 社長

「2022年度は、」

「昨年資本増強を行った。コア技術の強化は当社の成長に重要であり、研究開発投資は続ける。新製品の多くはオープンイノベーションによる他企業や大学等との協力的連携「MOKUGU SHI」戦略により誕生している。2月にJST・東京大学と発表した

「2022年度は、」

「昨年資本増強を行った。コア技術の強化は当社の成長に重要であり、研究開発投資は続ける。新製品の多くはオープンイノベーションによる他企業や大学等との協力的連携「MOKUGU SHI」戦略により誕生している。2月にJST・東京大学と発表した

未来社会を共に創ろう

Rigaku

サブミクロン結晶用電子回折装置
XtaLAB Synergy-ED

ナノスケールX線構造評価装置
NANOPIX

リガクはX線分析技術で
持続可能な地球環境の実現に貢献します。

株式会社リガク 〒196-8666 東京都昭島市松原町3-9-12 <https://www.rigaku.com>

極微の世界に未来が映る

世界の科学技術を支えて 70年

1949年に電子顕微鏡の開発製造会社としてスタートした日本電子は、今日、理科学機器、分析機器の世界的メーカーとして高い評価を頂いております。

その製品は世界130カ国以上の大学や研究所で使用され、ノーベル賞受賞者をはじめとしたトップサイエンティストや各種産業を支えています。

創立70周年を機に、これまでアカデミア市場で培った技術を核に、より大きな産業機器、医用機器市場での事業に注力し、さらなる容容拡大を目指してまいります。

核磁気共鳴装置 (NMR)

透過電子顕微鏡 (TEM)

本社・昭島製作所
 〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2 TEL: (042) 543-1111 (大代表) FAX: (042) 546-3353
www.jeol.co.jp ISO 9001・ISO 14001 認証取得

JEOL 日本電子株式会社

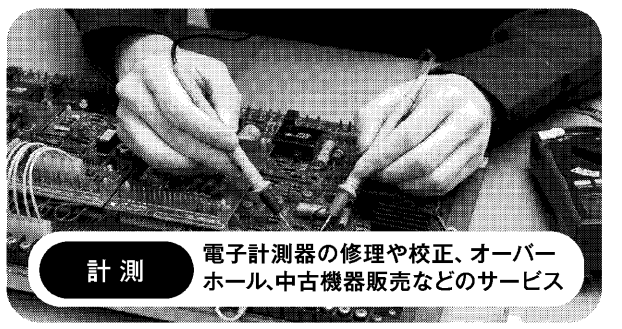
グローバルな視点から明日を創造する、電子機器サービスのパイオニア

高い技術力を持つエンジニアリングサービス企業です

京西テクノスは「医療」「計測」「情報・通信」「環境・エネルギー」の分野で最先端の技術と豊富な実績を持ち、CTスキャナー・ロボット・3Dプリンターをはじめ、あらゆる電子機器製品の修理・延命サービスやシステムのサポートを確立したプロフェッショナル集団です。



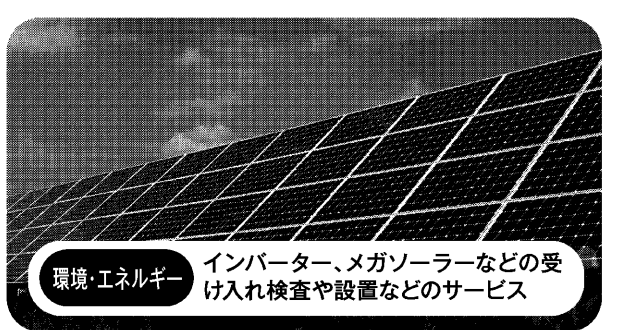
医療 医療機器の修理や点検・コール受付、リモート対応などのサービス



計測 電子計測器の修理や校正、オーバーホール、中古機器販売などのサービス



情報・通信 ネットワーク、サーバー、システムの構築や運用支援などのサービス




環境・エネルギー インバーター、メガソーラーなどの受け入れ検査や設置などのサービス

京西テクノスを知ること… それだけで私たちの未来が大きく変わる

おかげさまで設立20周年

京西テクノス株式会社

〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-25-2
☎042-303-0888(代表) www.kyosaitec.co.jp



Test&Measurement

Next Generation Optical Performance

YOKOGAWA

横河計測は世界で最も信頼されている高速で高性能な光スペクトラムアナライザを提供します。可視から中赤外(350 nm~5500 nm)までの波長帯域をカバーする8種類の製品ラインアップを取り揃え、幅広いアプリケーションにお応えします。

New Model **AQ6380** 1200~1650 nm

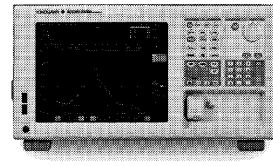
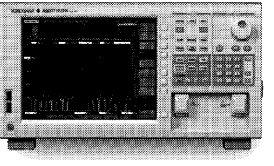
次世代光ネットワークの研究開発に対応する最高性能モデル

- 波長分解能: 0.005 nm
- 波長精度: ±0.005 nm
- 近傍ダイナミックレンジ: 65 dB
- 迷光抑圧比: 80 dB

New Model **AQ6377** 1900~5500 nm

環境計測や医療などに使用される5.5 μmまでの波長帯域に対応した中赤外波長モデル

- 波長分解能: 0.2 nm
- 波長精度: ±0.5 nm
- 近傍ダイナミックレンジ: 50 dB
- レベル感度: -60 dBm

Precision Making

横河計測株式会社 ☎0120-137-046
www.yokogawa.com/jp-ym/

日本品質保証機構

総合的な計測管理サービスを提供

「新型コロナウイルス」の新たな拡大を計るなか、信頼性の高いJQA認定校正への依頼は堅調に推移。校正証明書発行枚数は年間12万枚以上の伸び、2021年度は、

「お客さまのニーズに」
「ベトナム、ハノイ市」において、昨年導入した「万能測長機」によるゲージ類



小林 憲明 理事長

京西テクノス

リードタイム短縮・物流コスト削減へ

京西テクノスは電子計測器など産業用電子機器の修理・校正サービスを展開。医療・通信・計測をキーワードとした「デジタルマルチベンダーサービス」を推進している。

「売上高は、昨年に初めてグループで100億円を超え、前年度には113億円まで伸びた。利益率も最高の7割を確保した。本年度上期が今月で終わるが、年度を通した見込みが、地域内での出張校正正業務が寄与している。

「校正センターは富士通グループの栃木県小山市、同那須市、長野市の3拠点に加わり、従来の本社(東京都・多摩市)、福島、千葉、大阪と合わせ7カ所に拡大した。地域内での出張校正正業務が寄与している。

「物流コスト削減を実現している」

「さらに情報管理や校正プロセス、技術はDXとT化を推進している」

「校正センターは富士通グループの栃木県小山市、同那須市、長野市の3拠点に加わり、従来の本社(東京都・多摩市)、福島、千葉、大阪と合わせ7カ所に拡大した。地域内での出張校正正業務が寄与している。」

「校正センターは富士通グループの栃木県小山市、同那須市、長野市の3拠点に加わり、従来の本社(東京都・多摩市)、福島、千葉、大阪と合わせ7カ所に拡大した。地域内での出張校正正業務が寄与している。」



白井 努 社長

共和電業

高度化する計測器ニーズへ対応

共和電業は、ひずみゲージによる応力計測を中核とした計測機器の総合メーカー。自動車試験分野や運輸・交通インフラ分野、工業計測分野、環境・防災・エネルギー分野といった事業分野を展開する。応力計測に関する幅広い製品・サービスをラインアップし、「質した計測」を提案する。

「2021年度は、売上高は計画通り達成できた。ただ、コロナ禍前の水準までは未回復。国内は自動車の衝突試験計測システムなど

「22年の戦略は、」

「22-24年の中期経営計画「KYOWA New Vision 075」

「22年の戦略は、」

「22-24年の中期経営計画「KYOWA New Vision 075」



田中 義一 社長

横河計測

圧力計測技術に重点投資

横河計測はYOKOGAWAグループの測定器事業を担う中核会社として、顧客の技術革新を支える事業を展開している。

「2021年度は、」

「21年度より新中期経営計画をスタートし「脱炭素」「通信」「Well-being」の産業分野を事業領域と定め、組織も産業分野別のビジネス本部制とした。脱炭素分野では2月に発売した新型スコープ「D1050」と「統合計測ソフトウェアプラットフォーム」を発売し、環境・再生エ

「22年度は、」

「標準としている産業分野は活況が続くと予想。電気自動車(EV)をはじめとする輸送機器の電動化市場や再生エ

「海外展開については脱炭素分野では中国に加え、炭素化へのインフラ整備が加速するイン

「22年度は、」

「標準としている産業分野は活況が続くと予想。電気自動車(EV)をはじめとする輸送機器の電動化市場や再生エ

「海外展開については脱炭素分野では中国に加え、炭素化へのインフラ整備が加速するイン



岩崎 隆志 常務執行役員

JQA

確かな計測を、もっと身近に。

より広く、より深く、より円滑に

計測器の校正はJQAにお任せください

このシンボルは、国際MRA対応JCSS認定事業者であることを示すものです。JQA計量計測センター(JCSS 0029)、中部試験センター(JCSS 0064)、関西試験センター(JCSS 0071)および九州試験所(JCSS 0104)は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。

このシンボルは、米国試験所認定協会(A2LA)から認定された校正機関であることを示すものです。JQA計量計測センター(1400.01)、中部試験センター(1400.04)、関西試験センター(1400.03)および九州試験所(1400.05)は、ISO/IEC 17025に基づきA2LAから認定された校正機関です。

一般財団法人日本品質保証機構 計量計測センター

〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-4-4 (JQA多摩テクノパーク) TEL:042-679-0144 https://www.jqa.jp

KYOWA

確かな計測で、その先の未来へ

はかれば、安全が見えてくる。

目には見えない「ひずみ」や振動を計測して、安全・快適な自動車社会に貢献します。



コンパクトレコーダ CTRS-100シリーズ



光ファイバ測定器 EFOX-1000シリーズ

株式会社 共和電業 〒182-8520 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1
TEL:042-488-1111(大代表) FAX:042-481-3258
https://www.kyowa-ei.com/